

平成 22 年度 第 5 回理事会抄録

日時：平成 23 年 2 月 19 日（土）13：00～17：32

場所：（社）日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、山根、岩瀬（副会長）、荻原（事務局長）、古川、長尾、岩崎（監事）、大熊、香山、小林（毅）、小林（正）、土井、早川、山本（常務理事）、大丸、北山、坂井、陣内、日垣、東、三澤（理事）、久保田、小賀野、五百川、伊藤、望月（部・委員長）、高木（士会連絡協議会長）

I 審議事項

1. 平成 22 年度第 2 次補正予算案について（久保田財務部長）雑収入を増額補正。生涯教育部の受講システム再構築費用を増額補正。広報部内の勘定科目の調整。 →承認
2. 平成 23 年度事業計画及び予算案について（久保田財務部長）事業収入 100 万円増額、法人補修費・備品費を予備費へ移行。WFOT 代表者会議費用を計上。会費収納手数料を調整。収入総額 5 億 3,068 万円、支出総額 5 億 3,930 万円、不足分は積立預金取り崩す。 →承認
3. 第 46 回日本作業療法学会（宮崎）予算案について（久保田財務部長）総額 5,793 万 5,000 円の予算案となっている。 →承認
4. 「作業療法 5 ヶ年戦略（2008—2012）の見直し（案）」について（小賀野企画調整委員長）見直し案について、理事及び各部署からの意見を確認、検討した。 →承認
5. 法人移行問題（荻原公益法人制度対策委員長）
 - 1) 新定款（第 2 案）について（五百川規約委員長）理事意見及び内閣府との面談をもとに第 2 案を作成した。出された意見については内閣府に確認し、検討する。 →承認
 - 2) 代議員選挙、役員選出のあり方について（伊藤選挙管理委員長）代議員（社員）は各都道府県を選挙地区とし、正会員 300 人の中から 1 名の割合で選出する。役員は社員総会で選出する。 →承認
 - 3) 法人移行に向けての今後のスケジュールについて（荻原公益法人制度対策委員長）第 46 回総会で新定款、代議員選任規程の承認を得た後、代議員選挙を行い、2012 年非営利一般社団法人を経て、2015 年公益社団法人への移行申請を行う予定。 →承認
6. 専門作業療法士制度新規分野の特定（精神障害急性期）について（陣内生涯教育担当

理事) カリキュラム、取得要件等について審議した。名称について意見が出され、再度委員会内で検討する。 →承認

7. 保健福祉部関連

1) 障害者介護給付費等不服審査会における作業療法士の活用について(大丸保健福祉部担当理事) 審査会等の委員への作業療法士の登用について各県知事・市町村等の長に依頼する要望書を送付する。 →承認

2) 特別支援教育・乳幼児検診/子育て支援における作業療法士の活用について(坂井保健福祉部担当理事) 作業療法士の参画モデルを作成した。作業療法士の活用について要望書を作成する。 →承認

3) 障害者制度に係る作業療法士の活用について(大熊保健福祉部担当理事) 要望書作成に必要な基本的なデータを取るための調査を行った。要望書骨子を検討した。 →承認

8. 平成 22 年度 WFOT 認定等教育水準審査結果について(日垣担当理事) 審査対象校 53 校、合格 19 校、不合格 2 校、未申請校 32 校。認定率は約 74%。 →承認

9. 平成 22 年度第 4 回認定作業療法士認定審査の結果について(望月認定作業療法士審査等委員長) 更新 12 名、新規 13 名を認定する。本年 3 月 31 日で更新延長期間終了。受付は 3 月 31 日消印まで有効とする。 →承認

10. 会員の入退会について:正会員の死亡退会、賛助会員の入会(荻原事務局長) 死亡により 4 名退会。賛助会員 1 社、(株) ハートウェル入会。 →承認

11. その他 1) 事務職員の採用について 事務職員 1 名を採用する。 →承認

II 報告事項

1. WFOT2014 Team Japan 第 1 回会議について(山根実行委員長) 2 月 7 日-11 日に実施。

2. 倫理問題事案 NO. 39 に係る会員処分(会長専決)について(中村会長) 譴責処分とする文書通達した。不服申請はされなかった。

3. 謝金規程:別表 1「講師謝金支払基準」の整理について(五百川規約委員長) 専門作業療法士の講師謝金支払対象区分を B 区分とする。

4. 養成教育部事業の中間報告(東養成教育部担当理事)

1) 地域生活支援に積極的に参画する作業療法士養成に向けたカリキュラム案についてカリキュラムと、新たな指定規則、指導要領を提示するための検討をしている。

2) 臨床実習のあり方について:実習指導者のための研修システム作成、実習指定施設

を協会が認定することを提案する。

3) **教育研修プログラムについて**：協会独自のプログラム案を検討している。

5. **平成 24 年度介護保険改定に向けての要望活動について**（会長）1 月 25 日に老健局長と面談。自立支援に向けた包括マネジメントの総合モデルの研究成果と介護領域で作業療法士がどのように働いていくかプレゼンを行った。

6. **厚生労働省医事課との勉強会について**（岩瀬副会長）作業療法士養成の問題点、あるべき姿について資料を持参し、説明した。

7. **その他の渉外活動について**（各理事） 文書報告

小林（毅）理事：23 年度からがんリハビリテーション研修は、がん拠点病院も受入れる。

山本理事：介護報酬の要望書をまとめた。修正があれば連絡いただきたい。診療報酬に関して、1 月 5 日に医療課を訪問。3 月に再度訪問し、要望書提出予定。

8. **機関誌・協会ニュース等、協会の情報提供のあり方検討会（仮）の開催について**（会長）情報提供のあり方について、会議を関係理事出席のもと、3 月常務理事会後に開催する。

9. **平成 23 年度から実施する強制退会者の再入会手続について** 書面報告

10. **その他** 会長：厚労省医政局より「在宅医療連携拠点事業の実施に係る周知について」文書が送付された。